

## 名大の卒業アルバム

卒業アルバムは、その時代の大学や学生たちの様子を視覚的に知ることができる、貴重な歴史資料でもあります。名大では、1987(昭和62)年以降、名古屋大学生協が名大全体の卒業アルバムを毎年製作しています。

時代をさかのぼると、1910(明治43)年の愛知県立医学専門学校(愛知医専、医学部の前身)の卒業アルバムが、名大が所蔵する最も古いものです。1920(大正9)年に設置された名古屋高等商業学校(名高商、経済学部の前身)も、毎年卒業アルバムを製作していました。同校のアルバムは、特に装丁が立派でページ数も多い重厚な作りです(写真2)。ただ、1908(明治41)年に設置された第八高等学校(八高、旧教養部の前身)は、学校単位の卒業アルバムは残っていません。八高は名高商と異なり、卒業生がすぐ社会に出ることなく、ほぼ全員が帝国大学等に進学したからなのでしょう。

1937(昭和12)年に日中戦争が始まり戦時体制になっても、これらの卒業アルバムは作られ続けました。名古屋帝国大学医学部は、日本の敗色が濃くなっていた1944年にも製作しています。個人が写真を撮ることが珍しかった時代では、卒業アルバムは現在より大事なものと考えられていたのかもしれませんが。

名帝大全体での卒業アルバムは残っておらず、戦後も名大全体ではなく学部単位で作られました。大学文書資料室が把握している範囲では、文学部・理学部・工学部・農学部では製作していないようです。学科単位のものもありますが、その数は限られています。生協卒業アルバムが登場するまでは、学生生活を伝える良質な写真が意外に残っていないのが現状です。

卒業アルバムに限らず、名大やその前身学校に関する写真をお持ちでしたら、その時代を問わず、ぜひ大学文書資料室にご一報ください。



- 1913(大正2)年の愛知医専卒業アルバム(『記念写真帖』)に掲載された、大変貴重な建築中の鶴舞校舎の写真(1914年に天王崎から移転)。
- 名高商の卒業アルバム。表題を始め、装丁や頁数などは年によって様々。
- 1978年の医学部卒業アルバムに掲載された、鶴舞の生協食堂での写真。医学部は、前身学校の時代から現在まで、ほぼ一貫して独自の卒業アルバムを作り続けており、その多くは医学部史料室が保存している。
- 1987年の生協卒業アルバムに掲載された、山田杯(名大祭で行われていた仮装自由のミニ駅伝大会)の様子。
- 10月に刊行されたばかりの2018年の生協卒業アルバム。当初はカラーページが少なかったが、現在はオールカラーになっている。また、生協は入学アルバムも毎年製作している。

BRIEF HISTORY OF NAGOYA UNIVERSITY

### 名古屋大学基金のご案内

名古屋大学が優れた人材輩出や世界的な研究成果により、今後も日本や地域に貢献し続けるには、安定した独自財源が必要です。「名古屋大学基金」はその基盤であり、皆様からのご寄附を、さまざまな事業に活用させていただきます。何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄附のお申込み、お問い合わせはDevelopment Office (DO室) あて(電話052-789-4993、Eメールkikin@adm.nagoya-u.ac.jp)にお願いいたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

名古屋大学基金



<http://www.nagoya-u.ac.jp/extra/kikin/>

アクセスはこちらから▶

### 特定基金

名古屋大学基金の中には、研究推進や人材育成など、支援目的を特定してご寄附いただける事業もご用意しております。

